

2023年(令和5年)

赤目まちづくり委員会・市民センター

9月号

赤目まちづくり通信

〈スローガン〉「みんなで考え みんなでつくる 夢はぐくむ わがまちあかめ」

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター) 〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 E-mail: akame-ko@emachi-nabari.jp TEL&FAX: (0595) 63-0329

4年ぶりの赤目夏まつりを終えて

赤目まちづくり委員会 会長 藤村純子

3年もの長く続いたコロナ禍も、2類から5類に変わり、去る8月5日やっと念願の夏まつりが、錦生赤目小学校運動場を会場に大勢の参加者であふれ盛んに開催する事が出来ました。地域の皆さんの協力とご支援のおかげと心より感謝いたしております。

4年ぶりの夏まつりということで、赤目まちづくり委員会では、地域活動部会を中心に手作りのまつり・そして子どもたちが主体的に関わり楽しめるまつりを目標に、まちづくり委員会役員と各部委員が連携協力して夏祭り開催に向け取り組むことが出来ました。

青少年育成部では、小・中学生に参加を呼び掛け20人もの子どもたちがスタッフとして参加し、司会や子どもたちが考えた子どもたちの店の運営に携わってくれました。どの店も盛況で子どもたちからは楽しかった、またやりたいなどたくさんの声を聞くことが出来ました。

また、赤目地区内のお店の皆様にも出店の協力をいただき、キッチンカーの参加もあり、まつりを盛りたてていただきました。やぐらや提灯、ステージの設営、音響設備、会場入口には竹あかりの照明が設置されるなど、地域の方に奉仕頂き運営する事が出来ました。

夕方5時から始まった、赤目中学校吹奏楽部の演奏では、西日がさしまぶしく、大変暑い中でしたが素晴らしい演奏を聴かせていただき感動いたしました。赤目市民センターのサークルの発表として、尺八の演奏や、民謡を歌って頂きました。小学校5・6年生によるソーランも春の運動会を思い出すよう元気に演じてくださいました。夏まつりの風物である盆踊りには、子どもたちの部・大人の部と分けて踊ることによりおおくのこどもたちも参加してくれました。それぞれに大きな輪が出来、盆踊りを楽しむこともできました。

盆踊りの間におこなわれたサークルの健康体操の発表には、サークルの人だけでなく、小・中学生や世代を超えた多くの方の飛び入り参加がありおおいに盛り上がり楽しませていただきました。

来賓には、北川市長・中森県議会議長・西山教育長・細矢市議会議長をはじめ多くの皆様に来ていただくことが出来ました。また、来賓の皆様にも踊りの中に入って踊っていただいたり、遅くまで夏まつりをたのしんでいただき、大変うれしい気持ちになりました。

夏まつり最後になる花火の打ち上げは、運動場の照明を消しておこない、いつになく多くあがった美しい花火は、夏まつり終了のしめとなりました。1年間の中で、一番大きな「赤目夏まつり」は、皆様のご理解と協力のおかげで事故もなく無事終了する事が出来ました。

今後も、赤目まちづくり委員会では、多くの行事を計画致しています。夏まつり同様多くの皆様に参加いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、4年ぶりの開催に向け設立しました実行委員会の皆さまには前日の準備から当日は勿論翌日の後片付けまで、大変ご協力をいただきました事、改めて心よりお礼申し上げます。

災害に備えて防災対策を

防犯防災部会 部長 濱地俊宏

お盆休みを襲った台風7号、赤目地域でもたくさんの被害を受けました。

なかでも倒木等により数日間の停電となった地域もあり、不自由を身をもって感じられた地区はもとより、これからの台風や集中豪雨等による対応策が必要になってまいります。

気象状況により避難所開設が実施されますが、移動等が安全に出来る時に、余裕をもって避難所を利用する事も考えて下さい。豪雨や台風が去ったあと無事に家に戻っていける様、自分の命は自分で守る考えをそなえて頂きたいと思っております。今後いつ襲ってくるかわからない災害に備えて、各家庭での防災対策の確認をお願いいたします。

また、9月16日に家庭での防災対策をテーマに「防災教室」を行ないます。なお11月18日には「名張市総合防災訓練」も行なわれます。

自助と共助で「みんなで助かるまちづくり」を進めていきましょう。

各サークルのご紹介④

今回は、卓球をされているサークルさんのご紹介をさせていただきます。あけぼの、あけぼの土曜クラブ、健康卓球、白颯、フリーピンポン、赤目卓球クラブ、中井卓球のグループ7組。

- ①あけぼの 毎週月曜日 10:00～12:00 開催
 - ②あけぼの土曜クラブ 毎週土曜日 10:00～12:00 開催
 - ③健康卓球 毎週火・金曜日 10:00～11:00 開催
 - ④白颯 毎週火曜日 13:30～15:30 開催
 - ⑤フリーピンポン 第2・4水曜日 9:30～11:30 開催
 - ⑥赤目卓球クラブ 第1・3・5水曜日 9:30～11:30 開催
 - ⑦中井卓球 毎週木曜日 13:30～16:00 開催(他不定期)
- 開催日に連絡の上、見学ください。 ☎63-0329 市民センター
詳細は、工芸室に掲示していますので、ご参照ください。

ELP健康教室、相楽出前健康教室を実施

健康福祉部(大森一彦部長)主催の8月16日ELP健康教室、「相楽出前健康教室」30日10時より相楽集会所で開催。

今回は、赤目まちの保健室よりフレイルチェックとスクエアステップを実施。久しぶりの開催で、30名余りの参加を頂きありがとうございました。10月は、新川区で開催予定です。



「忍法赤目プリン」地域おこし隊赤目滝で開店

「赤目四十八滝」入り口に8月20日、自家製プリンのお店「忍法赤目プリン」がオープン。市地域おこし協力隊・川崎智哉さん(25)ら協力隊2人とカフェ経営者3人による共同経営で起業したお店。プリンは滝帰りの観光客らに食べやすいよう、さっぱりとした味。

店は広さ約60平方メートル、カウンターとテーブル計26席。滝の自然に合う温かみのある木材を基調にした店内。協力隊の任期後の定住に向け、観光庁などの補助金を充当。

また、マンゴー、ブルーベリーのかき氷、フルーツジュース、レモンスカッシュなどドリンクも販売。「地元の人に、かわいがってもらえるような店にしたい」と。

プリンは税込み1個380～450円。営業時間は午前10時～午後5時。年中無休だが、臨時休業あり。問合せ、忍法赤目プリン(0595・51・5689)。店の公式インスタグラムもある。



<10月よりコピー料金改定>

この度諸般の物価高騰により、紙代・インク代等の値上げによりやむを得ずの改定となりました。よろしくお願い致します。

- 白黒A4・1枚10円 カラーA4・1枚50円/A3・1枚80円
- 用紙持込み不可(10月1日より実施)

皆様の情報をお寄せください。

いただいた情報は、取材を進めて、記事やWebサイトなどで紹介させていただきます。(内容は、リライト・一部加筆訂正致します。)

赤目まちづくり委員会
赤目市民センター

ホームページ



赤目まちづくり委員会・市民センターの情報及びまちづくり通信がホームページでカラーでご覧いただけます。
※スマホ・携帯電話で左のQRコードを読み取って下さい。

ご参加をお待ちしています。

9月4日～10月1日までの予定

赤目町の皆様へ

赤目まちづくり委員会

竹あかりづくり

赤目竹あかり SDGs プロジェクトでは、竹を利用した工芸品「竹あかり」「竹細工」の製作を推進しています。間伐材の利用で、地域おこし・活性化を考え新たな取り組みとして竹あかりづくりを企画しました。子どもさんも、ぜひ一度ご参加ください。



- ・開催日 令和5年10月8日(日)9時半より 赤目市民センター・工芸室
- ・内容 電動ドリルによる竹あかりづくり
- ・参加料 無料 定員10名で締め切ります。
- ・受付 竹の準備のため9月25日(月)までに、赤目市民センター(電話63-0329)にお申し込み下さい。
- ・出来上がった作品は、市民センターまつり(10/28～30)で展示させていただきます。

月	火	水	木	金	土	日
9/4	5	6	7	8	9	10
11	12	13 ふれあいサロン	14	15	16 防災教室	17
18 敬老の日	19 	20	21	22	23 秋分の日	24
25	26	27 忍たま広場 ふれあいサロン	28	29	30	10/1

10月の行事予定

- ★10/8(日) 竹あかりづくり
- ★10/14(土) 赤目歴史散策
- ★10/19(木) サンサンカレー
- ★10/21(土) ふれあいフェスティバル(錦生赤目小)
- ★10/21(土) 親子料理教室中止
- ★10/25(水) 忍たま広場・ふれあいサロン
- ★10/28(土)～10/30(月) 赤目市民センターまつり
- ★10/30(月) 市民大学講座②



<館外学習・赤目歴史散策>

初瀬街道と名張旧町に行く

- ・開催日 10月14日(土) 赤目市民センターに9時30分集合・出発
- ・行き先 赤目市民センターから新町橋・名張旧町へ(徒歩約8.5キロ)
- ・申込み 10月2日(月)までに、赤目市民センターにお申し込み下さい。
歩きやすい服装で、弁当・水筒をご用意ください。

Vol.44 新・歴史散策紀行…「伊賀・赤目文化遺産」

赤目のむかし話Part.10 お地蔵さんのお話を。

全国にたくさんのお地蔵さんが有ります。夏になると各地域で行われる地蔵盆、どんな小さな集落の道にもあるお地蔵さんの石仏や、お墓やお寺にある六地蔵像、かさ地蔵の昔話など身近な存在。また赤目にも多くのお地蔵さんや石仏が残っています。勝運生地蔵(しょうけいじぞう)さんに続いて、3話を紹介。

大師山の子安地蔵(柏原)

柏原にある「大師山」のふもとに昔から「久保」という家がありましてな。七、八代前の方が同じ夢を何度も見たそう。白馬に乗ったお大師さまが山から降りてくる夢でしてな。お大師さまが、「大師山の塚を掘るんじゃ。大事なものが埋まってある。分かったか。掘るのじゃぞ。」

一晩だけなら気にもとめなかったのに、毎晩や。不思議な夢のことが気になってしもうて、ある朝、村人と一緒に塚を掘ってみることにしたそうですわ。するとどうじゃ、そこからお地蔵さんが出てきたんやわ。何のお地蔵さんが分からへんでんけど「子安地蔵」と名付けられてな。その塚にまつられたそうや。

今でも、その地蔵のほこらを二十年に一回建て替えて、毎月二十四日を命日としてな、村の人がまつてあるのや。

<話・久保義一さん 明治四十一年(1908)年生まれ>

久保神社の由来(柏原)

むかし、久保家の人が伊勢神宮に参ったときにな。二見ヶ浦ま

今後の赤目まちづくり・市民センター行事の取組みについて

◎赤目市民センターまつり

- ・10月28日(土)～30日(月) コロナ禍以前の規模で開催予定 サークル発表・展示・出店(バザー)・講演など予定しています。
- ※皆様の作品出展をお待ちしております。連絡 63-0329 まで。

◎県外学習・岡崎

- ・11月14日(火)8時出発
「家康ゆかりの地岡崎を訪ねて」
大樹寺・岡崎公園・岡崎城・大河ドラマ館・八丁味噌店見学など。
(詳細は、後日チラシ等でご案内いたします。)

で足を運んで、その興玉神社の横で、小石を一つ拾って帰ったのや。「ああ、えらかった。どれ石でも出そうかな。」ていって、小石を庭へ置いたんや。すると不思議なことに「おやおや石がだんだん大きくなっていく！こりゃあ、いったいどういうことじゃ。」びっくり仰天。置いたとたん小石は、みるみる大きくなって五貫三〇〇匁(約20キログラム)ほどにもなってしまったのや。そして、石を村の下東野という所にまつたんや。後に、勝手神社にまつられてな。

村人たちは、子どもを連れて、「どうか子どもが無事で立派に大きく育ちますように。」とってお参りしたのや。

<話・三村相之助さん 明治三十二年(1899)年生まれ>

丸尾山の歯痛地蔵(星川)

星川の南にポコンとした丸尾山があつてな。そこに古い塚があつて、お稲荷さんとお地蔵さんがまつられているんや。

そのお地蔵さんは、むかしから歯痛をなおしてくれるお地蔵さんでな。各地からお参りしてましたのや。初午さんには、当番の十人が村で米を集めて、お餅をついてな。丸尾山で餅まきをしたんやわ。

今では、その風習がなくなっていますが、お正月にお供えしておりますんや。

<話・森嶋ます乃 明治四十一年(1908)年生まれ>



野の石仏



地蔵さんイメージ



檀六地蔵



笠地蔵の話



二見浦興玉神社



星川丸尾山